



チームI
馬渡 光春 議員

▼島原市第四次行政改革 大綱実施計画について

Q ①行政改革の状況、②取り組み体制、
評価体制はどうしているのか。

A ①計画目標の達成見込みを含め、九割以上の項目が達成またはおおむね達成となる見込み。②庁内の行政改革検討委員会で検討を行っている。また、議員や民間の有識者等で構成された島原市行政改革推進審議会でも審議されており、今後の取り組みに反映する組織体制をつくっている。

Q ①歳出削減と、②自主財源確保の取り組みはどうか。

A ①指定管理者の導入、職員数や給与の適正化、市単独補助金の見直しを行っており、年間約四億三千万円の削減と試算している。②島原港ターミナルビルへオラレ島原の設置や未利用財産の有効活用、清掃車両や市ホームページへの広告掲載に取り組み、年間二千万円を超える歳入増加である。

Q ①白山保育園の民営化や、②ありあけ庄の今後の見直しはどうか。

A ①ニーズ等を把握した上で民間移譲も検討。②民間移譲を進めたい。

Q 施政方針にある市民目線に立った行政改革への取り組みとは。

A 島原市行政改革推進審議会での取り組みを中心に、若い世代や女性の参画を促し、市民目線に立った行政改革を進めたい。

▼事業の外部評価について

Q 行政評価委員会で審議された①平成新山島原学生駅伝、②納税協力組合報奨金、③島原市交通災害共済事業、④島原市シルバー人材センター運営費補助金、⑤小・中学校就学援助事業、⑥街なみ環境整備事業の見解と今後の対応はどうか。

A 総合的な見解として、指摘された内容を真摯に受け止め、事業の改善に努めたい。【今後の対応】①二十五年度予算を減額。

②今後の方向性を検討。③市町村総合事務組合の交通災害共済への移行に向け、島原市の交通災害共済を整理する。④二十五年度予算で5%相当の補助金見直しを行った。⑤収入基準の見直しを検討。⑥実効性ある事業推進のため速やかに見直しを行う。

【その他の質問項目】

◇学校関係者評価について



如水クラブ
山本 由夫 議員

▼二十五年度予算について

Q 行政評価委員会の提言、事務事業評価の結果は、予算にどう反映されたのか。

A 島原学生駅伝及びシルバー人材センター運営費補助金については、提言内容を踏まえ、事業の見直しと予算の削減を行った。今後も行政評価を継続して行い、予算へ反映させたい。

▼今後の財政見直しと対応について

Q 合併算定替えの終了により、本市では平成二十八年度から地方交付税が順次減額され、従来以上に歳出削減と歳入増加策が必要になる。長期財政計画を策定し、市民の方に厳しい状況を早い段階で理解していただいておりますか。

A 現在、五年間の中期財政計画を公表しており、毎年更新しながら適正な財政運営に努めていきたい。

Q 市の資産と負債の関係、行政のコストを明らかにするため、新地方公会計制度に

よる公会計の導入を急いでほしい。
A 導入のための膨大な資産の評価に時間がかかっており、まともな次第速やかに公表したい。

▼成長戦略について

Q 国の成長戦略を受け、本市自体も成長戦略が必要。ポイントとなる①地域資源の発掘と活用、②官民の協働・連携、③外貨の獲得、④地域内での循環についてどのように取り組むのか。

A 地域資源と地元企業、地元金融機関、自治体が連携し、将来的に持続可能なビジネスモデルを構築することは、地域の活性化や雇用の創出にもつながり、また交流人口の増加による外貨の獲得もできると期待しており、国の成長戦略の動向を注視し、施策の有効活用などにより本市のさらなる発展につなげていきたい。

Q 地域資源の整理やネットワークづくり、これらを活かした実施計画をとりまとめ、実行するための、誰でも参加できる場や組織づくりをコーディネートしてほしい。

A いろんなジャンルの方々に取り組んでもらい、アイデアや意見を聞く機会やネットワークづくりを考えていきたい。